

市立

2000年（平成12年）3月31日発行

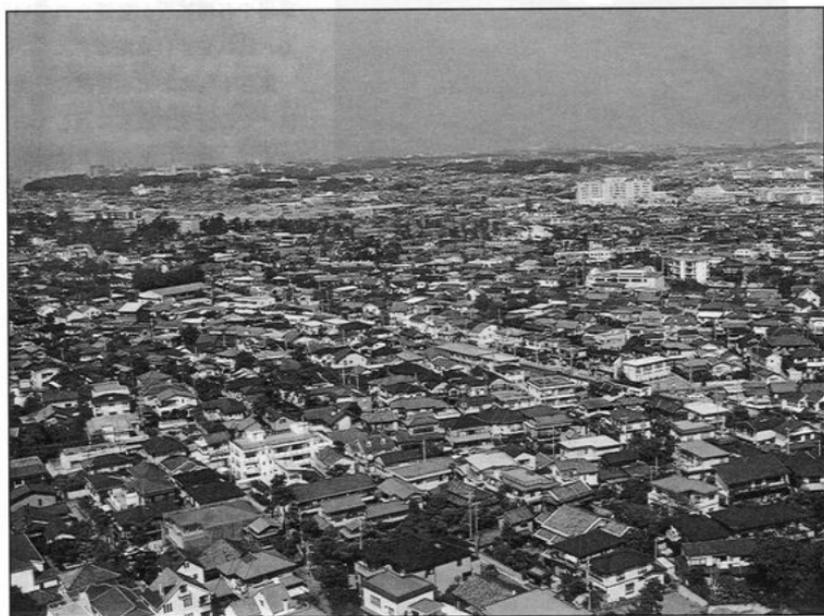
# 市川自然博物館

## 2・3月号

（通巻66号）

## だより

川のVI『観察適地』  
かんさつ



△住宅で埋めつくされた真間川流域。

高い位置からでも、どこに川があるのかわからない。

# 川のVI『観察適地』

かんさつ

今年度の特集では、市内の水系を地形との関係から大きく3つに区分し、それぞれの区分について特徴などを紹介してきました。今回は、3つの区分——上流部・中流部・下流部——のそれぞれについて、観察に適した場所をご紹介します。といっても、都市化が進んだ市川では、いい場所がなかなか見つからないのが現実です。

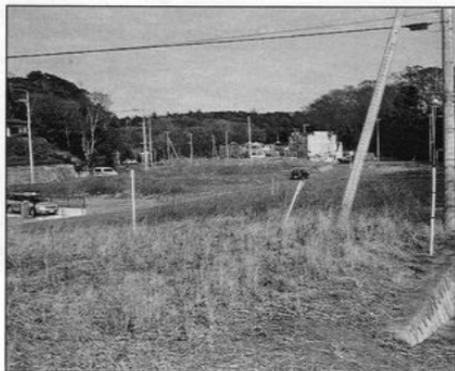
## 上流部の観察適地



### (自然観察園)

動植物園があることで知られる大町公園の中にあります。駐車場や各種施設が整備されていて、訪れやすい立地です。

長さ1\*。におよぶ自然観察園は、その全域が観察に適していますが、途中にある観賞植物園の2階からは、やや高い目線で斜面林と湿地の関係を眺めることができます。



### (唱行寺付近)

JR武蔵野線の船橋法典駅から、1\*。半ほど歩いた場所にあります(柏井町1丁目)。付近では宅地開発が進んでいますが、唱行寺から奥にかけてはまだ見通しがききます。細い谷の地形である点が見どころです。また、付近の姥山貝塚公園は台地上にあり、その一角からも谷の様子を見ることができます。



**(道免き谷津入口)**

北総線の北国分駅から1\*。ほど歩いた場所で、堀之内1丁目と2丁目の境にある道路からは谷の様子がよくわかります。特に、堀之内貝塚公園と小塚山公園が、道免き谷津の左右両岸の斜面林をなしている点が見どころです。また、堀之内貝塚公園は台地上にあり、一角から国分谷との合流部が見下ろせます。

**中流部の観察適地**



**(東部公民館付近)**

本北方3丁目にある東部公民館のすぐ北側、北方町4丁目の一帯は、建造物が少なく、大柏谷の谷底の空間的な広がり、よくわかります。左の写真では不鮮明ですが、現場に立つと、谷をはさんだ反対側の斜面にあたる宮久保～下貝塚の斜面林がよく見えます。谷の幅の広さに驚かされます。



**(東国分中学校付近)**

東国分3丁目にある東国分中学校付近では、すぐそばを流れる国分川の橋の上などから、国分谷のようすが見られます。この一帯も建造物が少ないため見通しがきき、国分谷の左右岸が斜面林で縁取られていることがわかります。谷の幅が広いことも、よくわかります。



#### (真間山付近)

京成線の国府台駅から1\*。ほど歩いた場所にある真間山一帯(真間4丁目)には、台地上から低地を見下ろせる場所が何箇所かあります。国府台の台地と市川砂洲にはさまれるように低地がある点が見どころです。かつて「真間の入江」があったとされる一帯で、市内の水系と市川砂洲との関係がわかります。

### 下流部の観察適地



#### (新行徳橋上)

平坦な地形である下流部は、その様子を観察できる場所が限られてしまいます。誰もが自由に行かれる場所となると、橋の上くらいです。江戸川放水路の北側にかかる新行徳橋からは、ほとんど高低差のない低地の様子が、びっしりと立ち並んだ住宅の屋根を通して知ることができます。



#### (市川大橋上)

江戸川放水路の南側にかかる湾岸道路・市川大橋の上から北を眺めると、市川全体を南端から見ていることになります。背後には東京湾、眼下には江戸川放水路の水面が広がり、その先には高谷、田尻から北へと低地がのびています。双眼鏡を使えば、一部に斜面林も見え、広い視点での理解に向いています。



# 街かど自然探訪

おじゃまします!

ほんぽようとく

## 本行徳・豊受(神明)神社の大樹

本行徳郵便局に隣接する豊受神社には、イチョウ、クロマツ、ケヤキの大樹があります。なかでもケヤキは、根本で二つに別れたそれぞれの幹回りが約3m、高さは10mを越えます。枝が切られた跡にできた洞やいくつもの瘤がさらに堂々たる風格を与えます。大きな洞を、かつてはフクロウなどが巣に利用したかも知れませんが。現在は洞がハンギングポットのようになってネズミモチの若木を寄せ、青々とした葉が冬のケヤキで目立ちます。



## RDB レッドデータブック

### 掲載種紹介



## オオアカウキクサ

分類

シダ植物 3カウキクサ科

ランク

絶滅危惧Ⅱ類



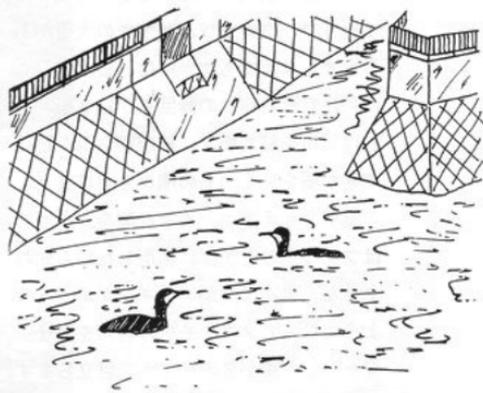
田んぼや休耕田などの浅い水辺の水面に生えるシダ植物です。名前に「浮草」とあるように、水底には根を張らず水面にブクブクと浮かびます。特に春先に目につくことが多く、それまで何もなかった水面が次第に本種に覆われて赤紫色に染まっていく様子は、見事です。

市内では、自然観察園のほか何箇所かで自生しています。田んぼのような場所であれば普通に見られますが、そういう場所自体は激減しています。

## 『真間川の鵜』

「八方橋から浅間橋にかけて、ウが2羽いて潜っていました。この付近は水質が一番悪いところで、魚がいるとも思えません。三中の通学路の三角橋付近でも、ウは目撃されています……」

——行徳鳥獣保護区にコロニーを構はたせいか、カワウが上空を頻繁に通過したり、川や池に飛来するようになりました。江戸川や東京湾なら餌の魚も豊富ですが、真間川で腹を満たすのはむずかしそうです（情報提供：水垣麻理子さん）。



## むかしの市川



このコーナーでは、博物館が1986年に行ったアンケート調査の結果から、むかしの市内の様子を紹介しています。

（原則として回答の原文のまま）

・上の方は普通畑とびわ畑が多く、下の方は水田で家は数えるほどでした。大川（現在は大柏川）にはシジミ、やつめうなぎ、なまず、うなぎ、ふな、こい、たなごなど、水田には、たにし、カラス貝、どじょうなどがいた。美ノ

輪だめには、水すまし、げんごろう、水かまきりなどがいた。たにしやカラス貝は食用にした。（北方）。

・家の二カイから海に浮かぶ帆かけ舟が見えた。海岸までは田、畠、はず田の広々とした耕地が広がっていた。海岸から松並木が家近くまで生えていた。（関ヶ島）。

・家の前に川があり、毎日、舟で、その川で、たんぼへ行って蓮根等を探って農作業用に使っていました。（新井）

わたしの  
観察 ノート  
No.48

◆大町公園より

- ・アオゲラが、斜面林の木々に沿って移動していました(12/3)。

小川 晃(自然博物館)

- ・ウラギンシジミがシロダモなどの常緑広葉樹の葉の裏側で越冬しているのが見られるようになりました(12/14)。

清野元之(自然博物館)

- ・ワシタカの仲間であるノスリが、飛来していました(12/25)。
- ・ジャノヒゲの実が、瑠璃色に色づいて見事でした(12/28)。

- ・斜面林ぞいにある池で、オシドリのつがいが見られました(1/24)。

金子謙一(自然博物館)

- ・前夜からの雨で、ニホンアカガエルが産卵したようです。卵塊が見られました(1/17)。

阿部則雄さん(船橋市在住)

◆市川北高校付近より

- ・たった1羽ですが、タゲリの姿を見ることができました(12/4)。

金子謙一

◆大柏川付近より

- ・グリーンハイツの周辺で、ツバメ1羽を目撃しました(12/4)。また、トビが2羽、上空を旋回していました。

石井信義さん(菅野在住)

◆柏井雑木林より

- ・朽木の中に、ノコギリクワガタの幼虫が潜っていました(12/27)。別の朽木ではコガタズメバチの新女王が見つかりました。また、土の中からはカブトムシの幼虫も見つかりました。
- ・オジロビタキが、林の縁の枝にとまっていた(1/11)。時々、地面に下りて餌を探していました。尾をツンと上げる仕様が可愛らしかったです。柏井散策会にて。

金子謙一

◆堀之内貝塚公園周辺より

- ・樹木銀行の中に、ルリビタキの成熟したオスがいました(1/2)。りっぱなオスを見たのは、市内では3度目です。

根本貴久さん(菅野在住)

◆江戸川より

- ・国府台3丁目の江戸川河川敷で、カワセミを1羽見ました(1/9)。別の日には2羽の追いかけっこを見ました(1/29)。
- ・オオバン1羽が泳いでいました(1/9)。
- ・川の中にカムムリカイツブリがいました(1/29)。

根本貴久さん

◎暖かい秋から、そのまま暖かい年越しになりました。やや暖冬気味でした。



# 行事案内



§ 申込の必要な行事です §

## 自然観察会

毎月テーマを変えて、市内各所に出かけます。内容によりコースの区別があります。

- 親子コース…親子向けの内容で、楽しみながら自然に親しみます。  
定員 先着10組
- 一般コース…大人向けの内容で、じっくりと観察し、分類や環境などについて  
わかりやすく解説します。 定員 先着20名

テーマ	コース	日時	場所	受付開始
長田谷津の春	親子コース	5月13日(土)午前	大町自然観察園	4月22日～
	一般コース	5月14日(日)午前		

### 〒申し込み方法

往復はがきに参加者全員の住所、氏名、年齢、電話番号、行事名と参加したいコース名を明記の上、自然博物館までお申し込みください。

§ 申込の必要はありません § 直接会場におこしください。

## 柏井散策会

市内で一番大きな雑木林を散策しながら、四季の自然を楽しみます。  
申し込みは必要ありません。はじめて参加される方は、事前に博物館にお問い合わせください(交通手段等ご案内します)。

- ・ 日時 4月15日・5月20日(毎月第3土曜日)  
午後1時30分～3時
- ・ 毎回のご案内は、毎月第2土曜日発行の『広報いちかわ・施設ガイド』をご覧ください。

## 「博物館だより」定期購読者募集

送料分の切手をお送りいただければ、年6回発行の「博物館だより」を郵送いたします。  
4-5月号よりお送りします(5月上旬発送予定)。

### 申し込み方法

氏名、住所、電話番号を明記し、送料分の切手(90円切手1枚・80円切手5枚)を同封の上自然博物館までお申し込みください。

市市川自然博物館だより  
第11巻 第6号 (通館第66号)  
発行日/平成12年3月31日  
編集・発行/市市川自然博物館  
〒272-0801 千葉県市川市大町284番地  
☎047(339)0477  
<http://www.city.ichikawa.chiba.jp/nature/>